

令和5年度 竜王町教育委員会の権限に属する事務の管理および執行状況の点検および評価にかかる報告書の概要

1 点検・評価の位置づけ

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、竜王町教育委員会では、毎年5月から8月の間に前年度における教育委員会の権限に属する事務の管理および執行状況の点検および評価を実施しています。

そして、その点検および評価結果をとりまとめ、9月定例議会中に議会に報告するとともに、町ホームページ等を活用して住民の皆様公表するとの方針を定めています。しかし、今年度は町議会議員選挙が9月執行されるため、8月議会定例会に報告することとしました。

このことを踏まえ、令和4年度教育委員会活動をはじめとする「令和4年度竜王町教育行政基本方針」に基づく事務について、点検および評価を実施しましたので、ここに報告いたします。

2 具体的な取組の経過

① 5月定例教育委員会 5月31日（水）開催

- ・令和5年度 事務評価にかかる事務日程の説明

② 第1回 竜王町教育委員会事務評価委員会 6月9日（金）開催

評価委員名簿（任期：令和5年4月1日から2年間）

氏名	所属等
大谷 五十二	小学校英語教育学会（JES）理事 びわこ学院大学非常勤講師
飯村 悟	近江八幡・竜王少年補導委員会委員 竜王町社会教育委員の会議長
今井 弘樹	国立大学法人滋賀大学教職大学院教授
今宿 綾子	前日野町教育委員会 教育長

- ・一次評価（案）に対する各課長からの説明およびそれに対する質疑応答、併せて評価委員による一次評価（案）に対する意見について協議。併せて、個々の評価委員から二次評価にかかる項目別評価を記入していただくように依頼

③ 6月定例教育委員会 6月29日（木）開催

- ・一次評価（案）の結果概要説明と一次評価に対する意見交換の上、教育委員会として一次評価の精査

④ 第2回 竜王町教育委員会事務評価委員会 7月12日（水）開催

- ・二次評価の集約と総括意見について協議していただき、評価委員としての二次評価を決定

⑤ 7月定例教育委員会 7月21日（金）開催

- ・評価委員からの「令和5年度竜王町教育委員会事務評価にかかる二次評価について」の報告を受け、議会への報告要領および住民への公表方法等について審議決定。
- ・8月議会定例会の教育民生常任委員会において説明することについて報告を行う。

3 点検・評価の対象

「教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務」、「教育委員会の活動」および「教育委員会が管理・執行する事務」の3項目に分類し、令和4年度竜王町教育行政基本方針にある9つの重点目標と具体的に取組んだ35項目の重点施策について点検・評価を実施しました。

4 総括

事務事業評価に係る外部委員については、4名の評価委員にお願いしました。

評価の実施については、「竜王町教育委員会事務点検および評価要領」に従い、教育委員会の承認を経て実施しました。

一次評価は、昨年度と同様S評価を最上位として位置付け、以下A、B、C、Dで評価しました。昨年度も、コロナ禍ではありましたが、具体的に掲げた目標数値が達成できたか、計画していた事業等にしっかり取り組めたかについて評価のレベル感に対するベクトルを合わせて評価するように内部協議を重ねてきました。

その結果、一次評価のS評価は5項目、率にして10%、A評価は25項目、率にして48%、B評価は21項目、率にして40%、C評価が1項目、率にして2%となりました。以上の結果を踏まえて評価委員の皆様からは、適切に一次評価ができていると認めていただきました。

二次評価は、4名の評価委員の皆様在一次評価を踏まえ、2回にわたって協議をしていただき、最終的に二次評価を決定していただきました。

その結果、S評価は1項目、率にして9%、A評価は7項目、率にして64%、B評価が3項目、率にして27%、C、D評価はありませんでした。

今後に向けては、評価を評価で終わらせないためにも、工夫や改善点を明確にして着実に取り組むことの大切さ等とS評価については、他市町のモデルとして持続可能な安定した取組となるように、またA評価については、さらに伸ばすための努力を積み重ねS評価となるようにとの意見や提言をいただきました。

今回の一次評価、二次評価や意見、提言について、すぐにでも取り組めることについては、早速、「令和5年度の事務点検・評価を踏まえた重点改善項目と主な改善点」として項目別にまとめるとともに、下半期さらには来年度の取組にもしっかりと生かしていきたいと思えます。

結びに、本点検および評価をPDCAサイクルの重要なチェック（評価）の機会と捉え、竜王町教育の更なる充実、発展をめざしてアクション（改善）に努め、「キラリと光る教育で竜王の人づくり・まちづくり」に邁進してまいりたいと思えます。